

古高松コミュニティ協議会 広報誌

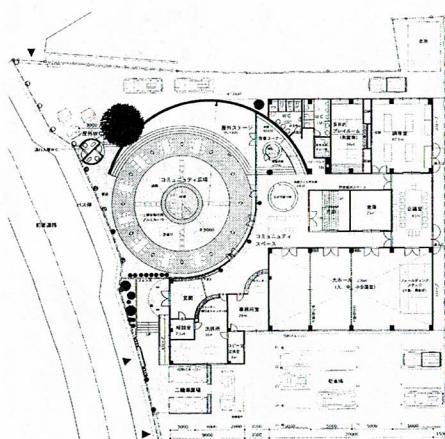
第2号



古高松コミュニティセンター完成模型

この設計図は、香川県建築士会の設計コンペ
の最優秀作品です。

設計者／イワラ建築設計事務所



古高松コミュニティセンター平面図



今夏の着工に向けて

コミュニティ協議会

会長 竹本知孝

初春の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び
申し上げます。

古高松地区の皆さまには、日頃からご多忙中にもか
かわらず、自治会活動をはじめ、河川等の一斉清掃や
環境づくり等明るくて住みよいまちづくりにご協力を
賜りますこと改めて厚くお礼申し上げます。

さて、待望の古高松コミュニティセンター（仮称）
の設計が上の写真のとおり決定し、いよいよ実施設計
の段階に入りました。

このコミュニティセンターは、コミュニティ協議会
を中心に各種団体の皆様が知恵を出し合つて整備構想
づくりに取り組み、地区住民の期待がこめられた施設
であります。

地域コミュニティ活動および、生涯学習活動の拠点
として、おおいに活用したいものです。

消防団員、懸命の救助



土砂に埋まった消防車（新田町）



防災マップを作成する各自主防災会会長

台風23号

土砂につぶされた家屋

— 浸水家屋は三百十八戸に —

台風23号による記録的な豪雨は古高松地区では初めて体験する被害をもたらしました。新田町では、家屋が二戸全壊しました。消防団員が裏山が崩壊寸前に民家に飛び込み、家人夫婦を助

けだし無事避難させました。また、地域全体にわたった浸水被害は、高松町一五七、新田町五八、春日町一〇三戸となり、内一九戸は床上浸水となりました。こうした状況から、指定避難所も両公民館、南小学校への避難経路が冠水しております。今後の対策が急がれるところです。

去る二月六日（日）午前九時半より地区自主防災連合会は、避難・防災マップ作成を、防災訓練の一環として取組を進めました。

自らの命「自分たちの地域は自分たちで守る」これが我々自主防災会の主テーマですが、昨年の一連の16号高潮・23号洪水被害を受けるなかで、十二月七日に開催した臨時総会に於いて、現状では対応できなかつた避難所の問題。情報収集や伝達。災害対策等の不備が指摘されました。

古高松地区自主防災連合会 地区避難・防災マップ作成

会長 加藤直之

そうした討議からこの訓練では住民避難の問題解決。即ち住民の避難は各防災会が対処する緊急かつ重要な事項であり、災害発生時に直ちに避難・収容できる避難所を確保し、マップに記録しました。また、防災本部の設置は、二月五日の自治会長会と六日の訓練総括の中で承認されました。最後に自主防災会の結成は、災害発生時の安否確認、情報伝達、救助、救援物資の配布等極めて重要であり、早い結成を期待します。



地区の“伝統の遊び”楽しむ

平成十六年十二月十九日
古高松小学校体育館で開
かれました。



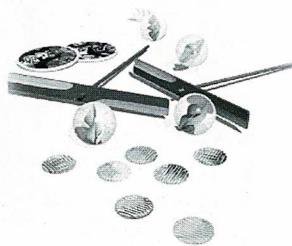
「オジヤミ」作りに真剣に取り組む子どもたち



おじいちゃんの技に挑戦!!
「しめなわ」はこつして…



「竹トンボ」大空に夢をのせて…



J R屋島駅の北方約二〇〇メートル、地蔵堂の境内にある。から約八二〇年前の寿永四年二月、私たちの郷土古高松や屋島、牟礼などを舞台に源平や源氏が覇を争つた屋島合戦の際に、源氏の大将・義経がここに上陸した源氏の精銳一五〇

ふるさと点描

余騎は、大坂峠を越えて讃岐入り。屋島を背面攻撃する作戦で讃岐南部の旧駅路を選び、馬宿から丹生に出て田面峠を越え、長尾・白山・前田・新田と進軍し、高松・牟礼に到着したのは一九日午前八時ごろであつた。新田の堀江付近では、総門を目指す本隊と赤牛崎あたりで浅瀬を渡り檀ノ浦の内裏を目指す別動隊に二分して進撃した。この時、帰来の鞍掛松付近で休息したあ

まさに力と力の乱戦となつたこの屋島の戦いは、四日間で源氏軍が大勝利を收め、源平合戦の勝敗を決定づけた要な戦いであつたとも言われてゐる。地元に今に伝わる史跡やエピソードに、戦う源平の武将たちの姿がよみがえります。折からN H K大河ドラマ「義経」が始まり、故郷ゆかりの源平合戦が全国から注目されそうです。

今回から古高松公民館はがき絵教室講師、清水純一氏のスケッチで地域の名所旧跡、新風景などを紹介する「ふるさと点描」を連載します。ご期待下さい。

「古高松郷土誌」より参考

鞍掛松

(高松市高松町帰来)

みしたという今、老松ではなく植え替えた幼木が育つてゐる。屋島に陣を張る平家追討を



**平成16年
交通安全年間スローガン**

○交差点での交通マナーの向上対策の推進

○交差点及び交差点付近の交通事故防止

五月俳句会

平成十七年二月 句会報

引鴨や

鳴らぬ口笛無理に吹く

岩本多賀史

春の霜

心無にして歩きをり

岡村 昌子

紅梅の

蕾きらりと雨零

青野 和子

病んでみて

言葉滲みいる余寒かな

吉田 直

雄猫の

毬をゆるめず冴え返る

澤本 三乗